

清色地区コミ協だより

きよしきがわ

令和6年2月号

清色地区の合言葉

「安心・安全で潤いと活力に満ちた共生・協働の町づくり」

発行：清色地区コミュニティ協議会	TEL 44-4222
清色地区コミュニティ協議会長	長坂 正雄
清色地区コミュニティ主事	春田 明美
清色地区コミュニティ協議会職員	高山 美恵



謹賀新年 皆さまにとって佳い年でありますように

1/13まで点灯していた「きよしきイルミネーション」に多くの方が見学に来てくださいました。1/14の撤去作業にもお忙しい中たくさんの方にご協力をいただきました。年末には有志の方よりコミセン玄関とイルミネーション設置場所に立派な門松を飾っていただきました。また点灯期間中、たくさんの方におこころざし(24,979円)をいただきました。有難うございます。来年のイルミネーション事業で活用させて頂きたいと思えます。携わられた皆様に感謝申し上げます。

(地域環境づくり部会)



厄払い・無病息災を祈願して中須自治会の鬼火焚きが1月7日に行われました。作業に従事された皆様お疲れさまでした。



新年のあいさつ

清色地区コミュニティ協議会会長

長坂 正雄

新年あけましておめでとうございます。今年は薩摩川内市合併20周年の年となりました。薩摩川内市も20周年の記念事業も行われることでしょう。

入来におきましては、合併時約6,000人程度いた人口も現在約4,000人程まで減少してしまいました。地区の行事・コミの行事等も人手の足りない状態にあるようです。令和6年度からは、地区振興計画も新しく見直しを図ったところです。

清色地区としては

- ① 入来地域5地区のコミュニティ協議会の横断的な連携を増やして、5地区コミそれぞれの特徴ある事業の実態や交通の不便な箇所や危険箇所など必要に応じて行政への改善を要望していく。
- ② 既存の買い物支援の事業者と情報を共有しながら買い物支援事業者等と連携を図りつつ、改めて「地縁」や「お互いさま」の気持ちを醸成する。
- ③ 増えてきた空き家に対して地域内の団体等と連携を取りながら空き家情報、対策、活用に関する情報の収集に努める。を目標に挙げました。これを基本として今後の活動を進めておきたいと思えます。今年一年清色地区コミュニティ協議会役員共々、清色地区の活性化に努めて参りたいと思えます。皆様におかれましても幸多き一年となりますように、ご祈念申し上げ挨拶と致します。